

『スクールソーシャルワーク ハンドブック』
出版記念オンラインシンポジウム

スクールソーシャルワークを めぐる日米の動向

～コロナ禍のなかで子どもの人権を守るために～



キャロル・リップペイ・マサット

スクールソーシャルワーク業界の世界的なバイブル
『School Social Work: Practice, Policy, and Research』の
編者2人がオンラインで登壇！
ライブ配信を行います。



マイケル・S・ケリー

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、世界中の学校現場に大きな影響を与え、子どもたちは未知な社会問題に直面しています。こうした社会状況のなか、子どもたちに寄り添い、彼らの人権を守っていくためにも、スクールソーシャルワーカーの存在はますます重要です。そこで、このたび『スクールソーシャルワーク ハンドブック：実践・政策・研究』の出版を記念して、原著者をお迎えし、アメリカとオンラインで結んだ出版記念シンポジウムを企画しました。原著者の方による、日本の読者にぜひ読んでいただきたい章、メッセージ等をうかがい、議論します。さらに、推薦章に基づき、午後の輪読会も実施します。

日時

2021年3月14日(日) 9:00～17:00

場所

オンライン上 (Zoom)

参加費

無料

申し込み先

右のQRコードよりアクセスし
(Google フォーム)

事前登録をお願いします

申込締切: 2021年1月31日(日)



問い合わせ先

〒599-8531

堺市中区学園町1番1号

大阪府立大学 人間社会システム科学研究科

山野則子研究室

「スクールソーシャルワーク評価支援研究所」事務局

TEL/FAX(直通): 072-254-9783(内線: 2585)

eb-ssw@sw.osakafu-u.ac.jp

主催 大阪府立大学スクールソーシャルワーク評価支援研究所

共催 大阪府立大学教育福祉研究センター

後援 明石書店

プログラム

第1部 原著者による講演(9:00～12:00)

基調講演① 山野則子(大阪府立大学)

日本のSSW研究の現状

基調講演② キャロル・リップペイ・マサット(インディアナ大学)

コロナ禍のSSWerにとって 大切な視点とは

基調講演③ マイケル・S・ケリー(ロヨラ大学)

アメリカSSW調査から 見えてきたこと

第2部 輪読会: 監訳者とともに(13:00～17:00)

山野則子(大阪府立大学)／駒田安紀(大阪府立大学)

佐藤亜樹(東洋大学)／厨子健一(愛知教育大学)

半羽利美佳(武庫川女子大学)／比嘉昌哉(沖縄国際大学)

横井葉子(聖徳大学)

※参加監訳者は変更になる場合もございます。